

# ファンコミュニティが生み出す生産者の稼ぐ力 シェアオーナーという生産者と消費者の新しい関係を構築



採択事業者名 EXest株式会社

コンソーシアム構成員 一般社団法人西予市観光物産協会 | 田力本願株式会社 | 株式会社テレビ愛媛

## 目的

一次産業にシェアオーナー制度を取り入れ、生産者と消費者の新しい関係を構築、イチ消費者をオーナーにすることで、一次産業従事者の収益の安定・高付加価値化を実現します。テーマは「所有することで近くなる、新しい地方との関わり方」とし、日本全国の消費者をオーナー(=ファン)に変え、生産者を中心としたオーナー制度を基盤とした観光産業への繋ぎこみも実現します。

## 課題

一次産業は、キャッシュフローや収益の安定性が脆弱です。また、生産物自体もコモディティ化し、価格競争にさらされやすく、規格外生産物はそもそも流通させることも難しい状況です。さらに、繁忙期と閑散期のため、労働力の確保も難しく、人、金の問題で新しいチャレンジもできていません。



## 解決策

日本全国の消費者をオーナー(=ファン)に変えていき、生産者とオーナー、またオーナー同士でコミュニティを形成します。所有という「究極の自分ごと化」により、オーナーのロイヤリティを高め、愛媛県に特別な感情を持っていただきます。消費者というフローの概念を、オーナー=ファンというストックに変える事業です。



検証項目	成果・結果
<p><b>生産者へのアプローチ</b> シェアオーナー制度が生産者に受け入れられるのか、受け入れられる場合は何にメリットを感じているのか。受け入れられない場合のボトルネックは何かを検証します</p> <p><b>消費者へのアプローチ</b> 消費者は何を目的にオーナーになるのか、オーナーに参加するためにはどのようなメリットが必要か、などを検証します</p> <p><b>オーナーになることによるエンゲージメントの高まり</b> オーナーになることでそのエリアへの訪問意向が高まるか、実際に行くのか、などを検証</p> <p><b>プラットフォームの最適化</b> PMFに向かうためには何が必要か、どのような機能が重要か、などを検証します</p>	<p><b>生産者へのシェアオーナー説明</b> 100を超える農家にアプローチし、12の農家に対して説明を実施、9の農家が参加してくれました。丁寧な説明により、生産者の不安を取り払うことで、やってみようと思っただけでことができました。</p> <p><b>消費者へのアプローチ</b> いきなりシェアオーナーになっていただくことのハードルや、関係性の構築の仕方などの仮説検証ができ、来期以降で実践していきます。</p> <p><b>商品開発プロジェクトの実施</b> 愛媛大学の学生から21のアイデアが創出され、16のアイデアで商品開発を進めていきます。6月-7月には実際の販売まで展開していきます。</p> <p><b>企業連携</b> 地方と企業の新しい関わり方の可能性が見えました。ワーケーションほどハードルが高くなく、地方に企業が関わっていく可能性を探ります。</p>
取り組み内容	
<p><b>生産者へのシェアオーナー説明</b> シェアオーナー制度に興味を持っていただいた農家さんへ60分程度、個別説明を実施しました。丁寧に説明することで、参加率は大きく高まりました。</p> <p><b>消費者へのアプローチ</b> デジタル広告やテレビでの露出(番組取り上げなど)を実施し、サービス認知を高めました。</p> <p><b>商品開発プロジェクトの実施</b> 愛媛大学と連携し、コンソーシアムメンバーでもある田力本願さんの規格外お米を活用し、商品開発プロジェクトを展開しました。</p> <p><b>企業連携</b> 商品開発プロジェクトでは、JALやSoftbank、Woven Holdingsなどと連携し、東京からの訪問も実現。シェアオーナー基盤を観光産業にどう活用できるのか、を検証しました。</p>	

## 今後の見立て・意向

今後は生産者、シェアオーナーともに数を増やし、サイト内のコンテンツを充実させます。より多くの方に利用していただけるよう、プラットフォームのUI/UXの改善も進め、機能の追加、拡張も進めていきます。また、商品開発プロジェクトも継続して進め、現在進んでいる16の商品のうち、複数商品を実際に製造し、日本国内外に出していきます。商品開発プロジェクトの発展形として、特定メーカーさんと共同し、日本全国のPocketOwnersに参加する生産者と学生さんへアイデアを募集するハッカソンなども実施、愛媛県に全国から多くの人、アイデアが集まる取り組みを実施したいと考えています。生産者やシェアオーナーの増やし方も本事業での学びを最大限活用し、愛媛県のパートナーと連携し、進めていきます。目標数値としては、100農家、1,000オーナー(2023年12月時点)を目指したいと考えています。その実現に向け月間80万UU(2023年12月時点)を達成します。

## 取得データ

一般的なGoogle analyticsデータ(サイトデータ)、PocketOwners上で取得可能なデータ(生産者に関するデータ、オーナーに関するデータ)に加え、100近くのインタビューデータがあります。生産者やオーナーがどのような点で利用価値を感じるのかなど、今後のサービス構築、改善に役立てていきます。

## データ活用による考察・示唆

オーナーへのデプスインタビューにより、シェアオーナーに参加するモチベーションは、生産者との体験にあり、生産者からの情報やコメントなどに期待している方が多いことがわかり、フィード機能を実装、生産者からの発信を簡単に閲覧できる機能を追加しました。そうすると、PV数も右肩上がりとなり、サイトの価値も高まる結果を得られました。